



扶桑電通株式会社

(証券コード：7505)

# 2024年9月期 第2四半期累計期間 決算補足説明資料

2024年5月15日

# 目次

- 1. 2024年9月期  
第2四半期累計期間 決算概要**
- 2. 中期経営計画FSV2024の進捗状況  
(2024年9月期第2四半期累計期間)**
- 3. SDGs 重要課題 (マテリアリティ)  
進捗状況**

# **1. 2024年9月期 第2四半期累計期間 決算概要**

# (1) 2024年9月期 第2四半期累計期間 決算ハイライト

➤ ネットワークやオフィス、サービス部門の売上高が増加し、増収増益

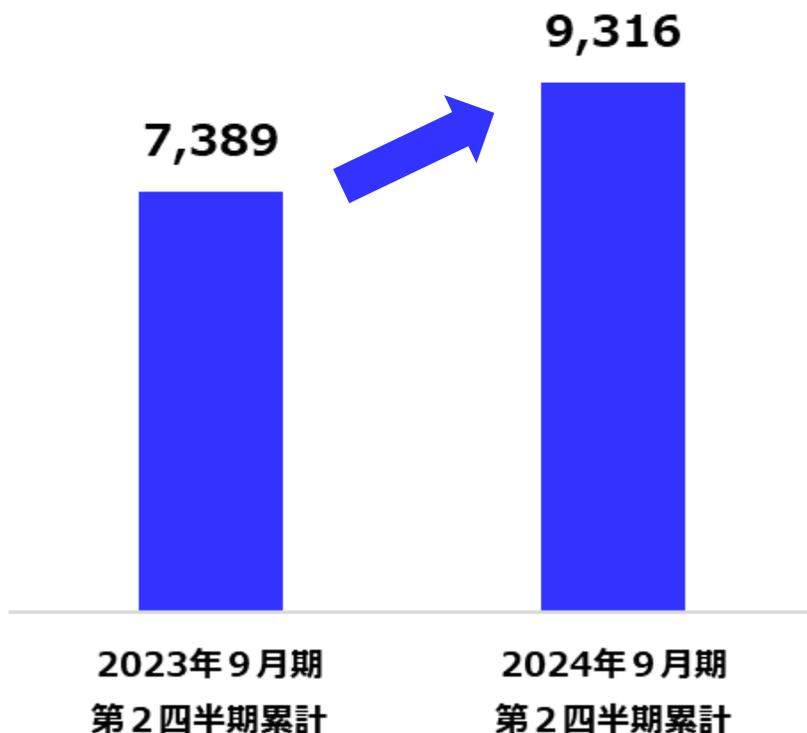
	2023年9月期 第2四半期累計	2024年9月期 第2四半期累計	前年同四半期比
売上高	23,440百万円	26,604百万円	13.5%増
営業利益	1,338百万円	1,805百万円	34.9%増
営業利益率	5.7%	6.8%	+1.1%
経常利益	1,413百万円	1,888百万円	33.5%増
当期純利益	986百万円	1,285百万円	30.3%増
ROE	9.7%	10.9%	+1.2%

## (2) 部門別売上高の前期比増減

### ネットワーク

- 小売業向けのWi-Fiアクセスポイント設置工事やナースコールなどヘルスケアビジネス、防災・減災ビジネスなどの好調により大幅に増加

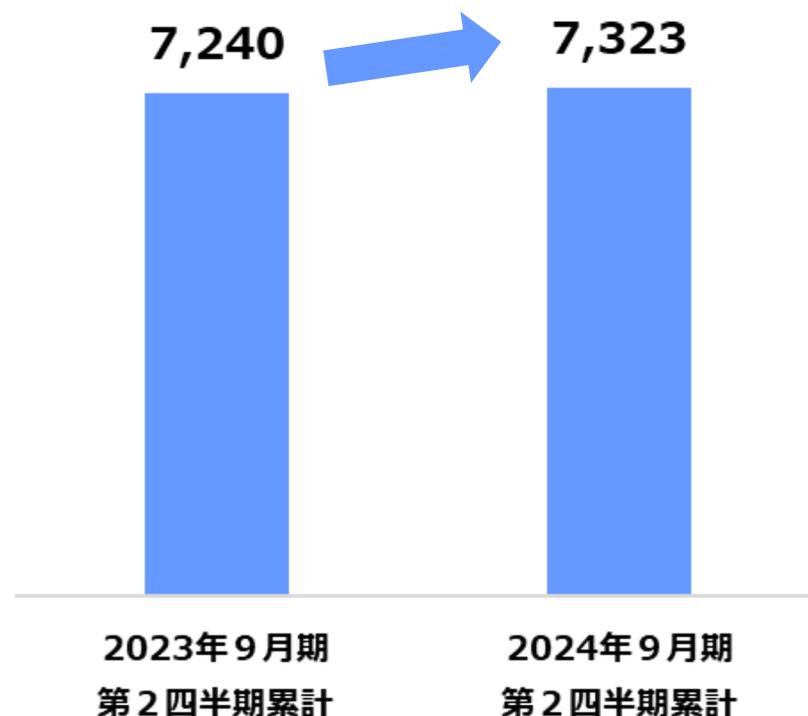
単位：百万円



### ソリューション

- 自治体向けITインフラ更新案件一巡の影響などがあったものの、電子カルテシステムなどヘルスケアビジネスの好調により増加

単位：百万円

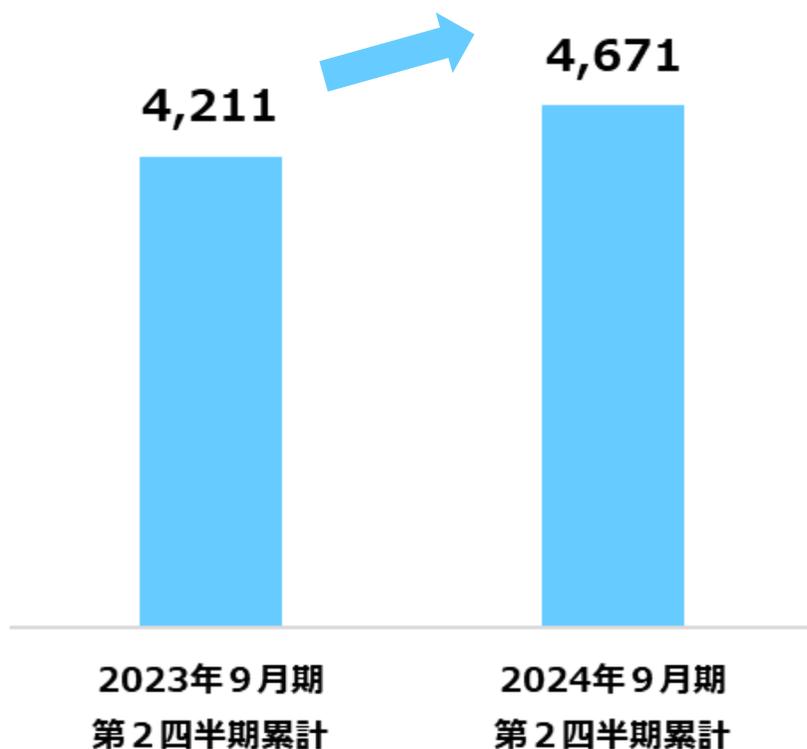


## (2) 部門別売上高の前期比増減

### オフィス

- 民需向けのパソコン・ソフトウェアや物流業向け車載端末、OS・ミドルウェアなどの好調により増加

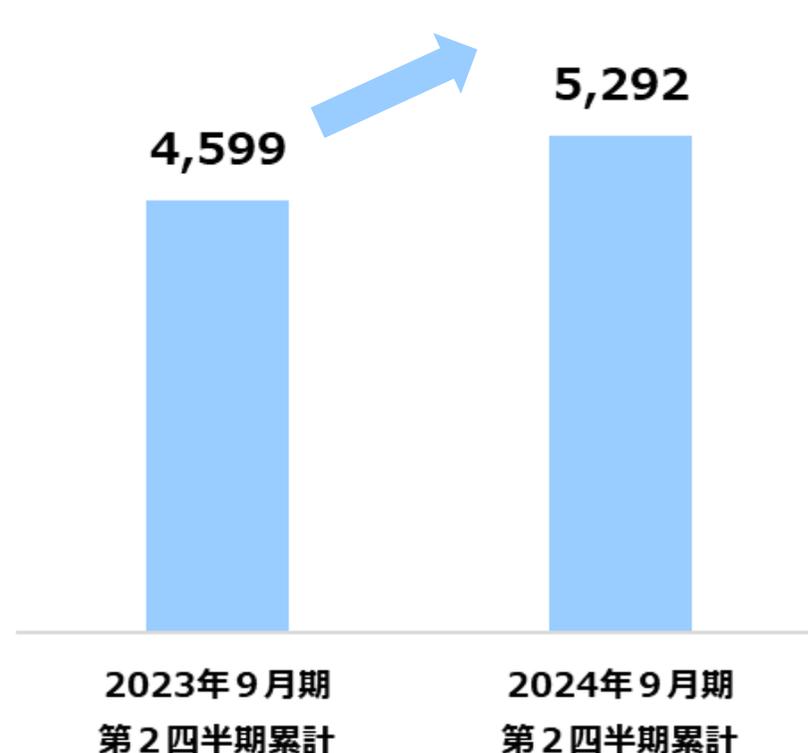
単位：百万円



### サービス

- サポートデスクサービスやクラウドサービスなどサブスクリプション型サービスの好調により増加

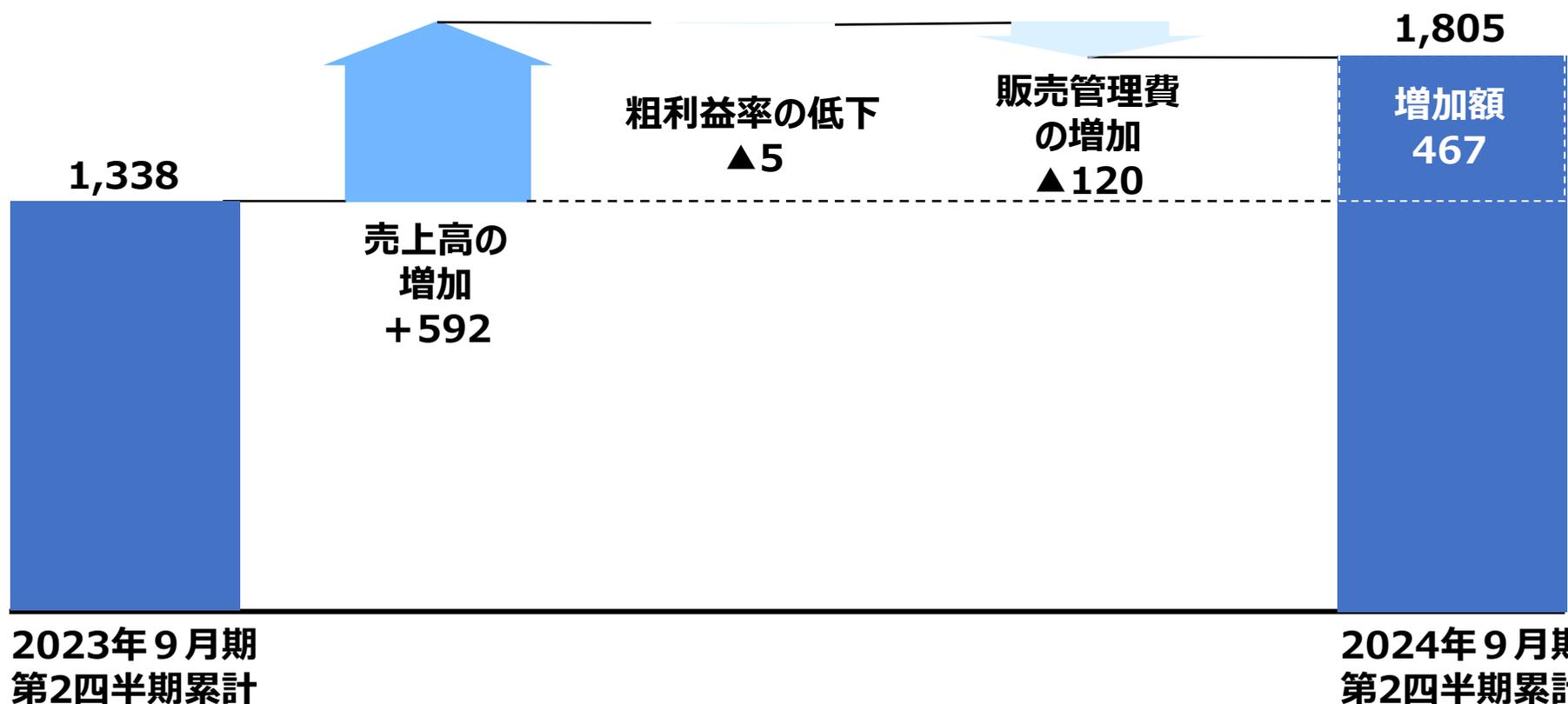
単位：百万円



# (3) 営業利益の前年同期比変動要因

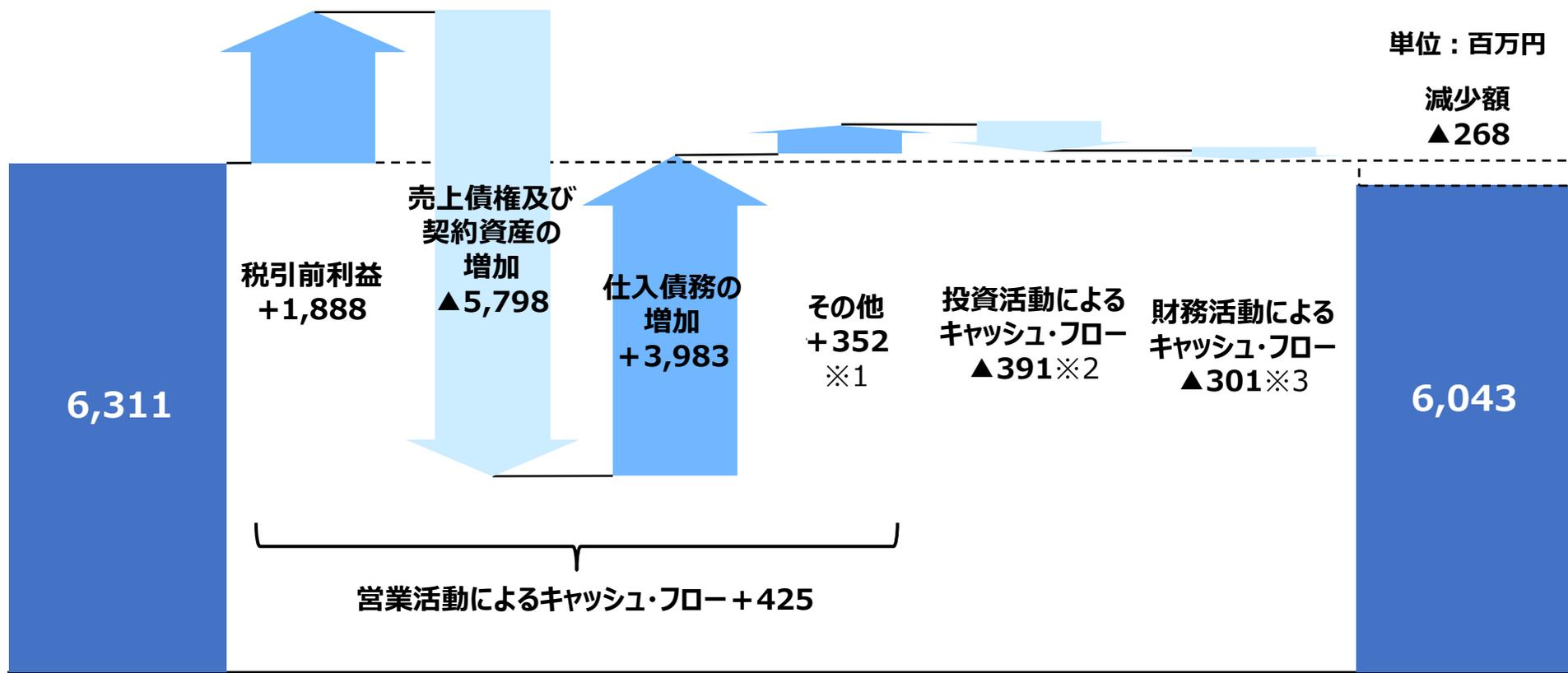
- 営業利益は、前年同期比**467百万円**の増加
- 主な増加要因：売上高の増加による**+592百万円**
- 主な減少要因：人件費などの増加に伴う販管費の増加による**▲120百万円**

単位：百万円



# (4) キャッシュ・フロー (2023年10月～2024年3月)

- キャッシュ・フローは268百万円の減少
- 増加要因は、税引前利益の計上や仕入債務の増加など
- 減少要因は、売上債権及び契約資産の増加や投資・財務活動による支払など



現金及び現金同等物の  
期首残高  
(2023年9月末)

- ※1 棚卸資産の減少により+437、利息及び配当金の受取により+70、法人税等の支払額▲341
- ※2 投資有価証券の取得による支出により▲300
- ※3 配当金の支払により▲296

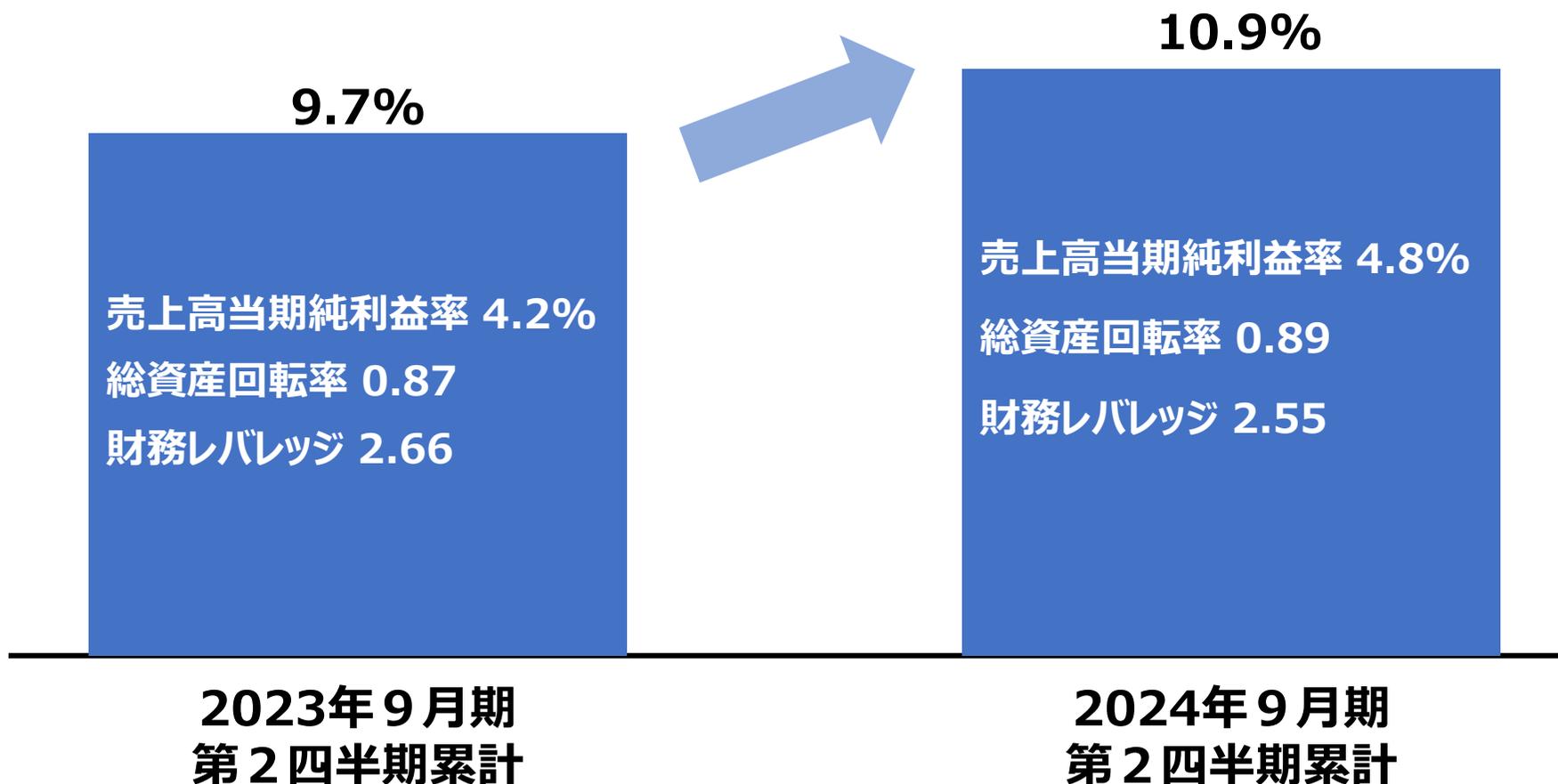
現金及び現金同等物の  
期末残高  
(2024年3月末)



扶桑電通株式会社

# (5) ROE

- 2024年9月期第2四半期累計期間のROEは10.9%と増加
- 利益率増加（売上高当期純利益率0.6%増）や総資産回転率の増加が主な要因



(注) 総資産回転率および財務レバレッジの算定においては、総資産・純資産の期中平均値を使用しています

## (6) 2024年9月期 業績予想

- 民需向けパソコン・ソフトウェア販売などが好調な**オフィス部門**や、サブスクリプション型サービスなどが好調な**サービス部門**において、**売上高が当初予想を上回る見込み**となったことから**業績予想を上方修正**
- **前期（2023年9月期）実績比で増収増益**を見込む

	2023年9月期 実績	2024年9月期 予想（修正前）	2024年9月期 予想（修正後）	対前期 増減率
売上高	41,137百万円	42,000百万円	43,400百万円	+5.5%
営業利益	1,260百万円	840百万円	1,300百万円	+3.1%
経常利益	1,428百万円	980百万円	1,470百万円	+2.9%
当期純利益	971百万円	710百万円	1,030百万円	+6.0%

# (7) 2024年9月期中間配当および期末配当予想

## ➤ 2024年9月期中間配当金

普通配当10円00銭を決定。前期中間配当金は、普通配当金10円00銭、創立75周年の記念配当10円00銭を含め20円00銭

## ➤ 2024年9月期期末配当予想

配当政策に係る基本方針のもと配当性向35%程度（記念配当を除く）を目安に実施予定。普通配当金10円00銭、業績連動配当として特別配当43円00銭を含め53円00銭を予定

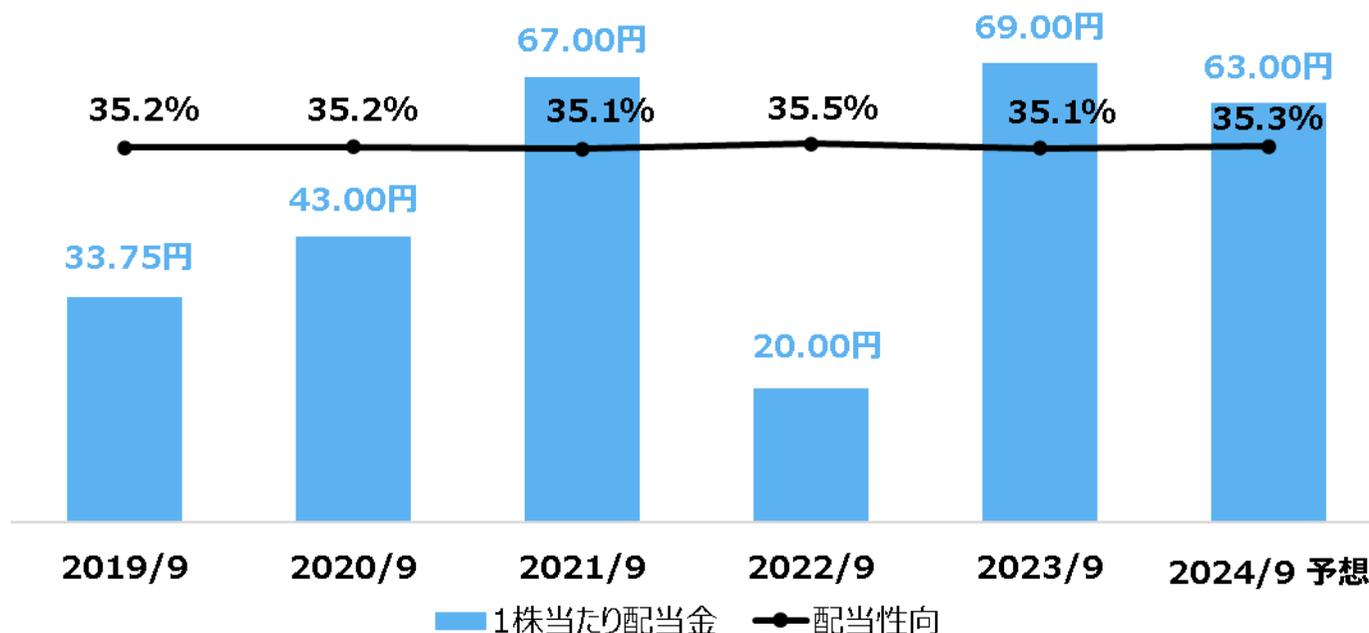
	2023年 9月期実績	2024年9月期			前期比増減
		前回予想	決定額および 予想	増減	
中間 配当金	10円00銭	10円00銭	10円00銭	±0円00銭	±0円00銭
75周年記念配当	10円00銭				▲10円00銭
期末 配当金	49円00銭	33円00銭	53円00銭	+20円00銭	+4円00銭
年間 配当金	69円00銭	43円00銭	63円00銭	+20円00銭	▲6円00銭

# (8) 配当政策および配当金の推移

## 配当の基本方針

- ◆ 業績に応じた利益還元として**配当性向35%程度を目安**に配当を実施
- ◆ **安定的な配当**である**普通配当を1株当たり20円**（中間配当10円、期末配当10円）
- ◆ **配当性向を目処に計算した配当が20円を上回る場合は、その差を業績連動配当**として期末に特別配当を実施
- ◆ 予期せぬ急激な業績の悪化や自然災害等により、通常の業務運営が困難となった場合を除き、**1株当たりの配当は年20円を下回らない**

### 1株当たり配当金と配当性向の推移



(注1) 1株当たり配当金は、株式分割・併合を反映した配当金（記念配当を含む）

(注2) 配当性向は、2023/9の記念配当10円を除いた配当金額で算出



# (9) 株主還元

➤ 株主還元の一環として、以下の株主優待制度を実施

## 株主優待制度

毎年9月30日現在の株主名簿に記載または記録された100株（1単元）以上保有の株主様を対象に、株主優待制度を実施

### (1) 株主優待の内容

保有株式数	贈呈内容
100株以上1,000株未満	クオ・カード1,000円分
1,000株以上	クオ・カード3,000円分

### (2) 贈呈の時期

毎年1回、12月下旬に株主様宛の発送を予定

# **2. 中期経営計画FSV2024の 進捗状況 (2024年9月期第2四半期累計期間)**

# (1) 第2期中期経営計画 基本方針と数値目標

## FuSodentsu Vision 2024

80周年さらには100周年に向けた Innovation Challenge

サービスビジネスの強化

新分野・新領域への挑戦

主力ビジネスの拡大

経営基盤の強化 ～人を活かす経営の推進～

人財育成の強化

ダイバーシティの推進と  
働き方改革

健康経営の推進

ガバナンスの充実

数値目標 2024年9月期 (FSV2024最終年度)

売上高

42,000百万円

営業利益

840百万円

営業利益率

2.0%

2024年9月期  
予想 (修正後)

43,400百万円

1,300百万円

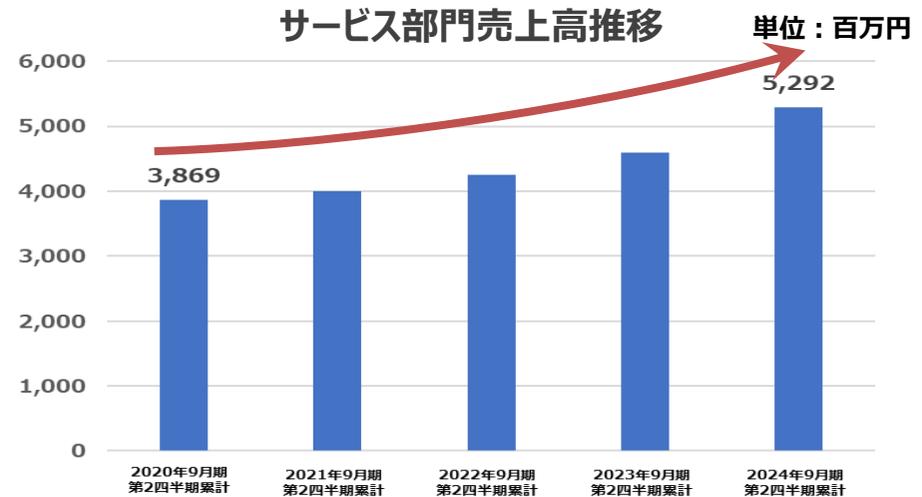
3.0%

# (2) 第2期中期経営計画 主な活動実績 (2024年9月期 第2四半期累計期間)

## 1. 主力ビジネスの拡大

- **自治体ビジネス**
  - ・避難行動支援「support eye」  
→Webセミナーを開催
- **防災・減災ビジネス**
  - ・自治体通信に「BO-SAINavi Difesa」を掲載
- **ヘルスケアビジネス**
  - ・ヘルスケア商域拡大への取り組み推進
- **自社パッケージビジネス**
  - ・物流センターソリューション「EncycloWMS」  
→2024年問題対策セミナーを開催

## 2. サービスビジネスの強化



- CallKeeperDX-文教サブスクリプションモデルの市場調査を実施 (IVR/通話録音機能のニーズ調査)

## 3. 新分野・新領域への挑戦

- **新たなサービスへの取り組み**
  - ・回線環境がない場所での可搬局によるリアルタイム映像送信への取り組み  
→実証結果：十分な伝送速度の通信を実現
- **次世代音声コミュニケーションサービスへの取り組み**
  - ・新たなネットワーク系主力商材の発掘  
→クラウド通話録音装置  
→クラウド在席管理システム など

## 4. 経営基盤の強化

### ● 人財育成の強化（DX人財の育成とスキル認定制度への全社取り組み強化）

- ・2024年3月1日付で経済産業省が定めるDX認定制度に基づき「DX認定事業者」としての認定を取得



### ● 健康経営の推進

- ・「健康経営優良法人2024（大規模法人部門）」に5年連続で認定
- ・メンタルヘルスケア対応強化  
全社員eラーニングの実施
- ・社員の健康増進への取り組み支援  
検診・人間ドック受診率100%実施  
終業時間内喫煙禁止の継続



### ● ダイバーシティの推進と働き方改革

- ・女性向けキャリア開発支援研修の実施
- ・多様な人財の活躍支援の実施
- ・働き方改革推進



### ● 内部統制の強化

- ・作業工数処理の運用改善（意識改革）
- ・電子契約/文書電子化/  
ペーパーレス運用整備



# 3. SDGs 重要課題（マテリアリティ） 進捗状況

# (1) 重要課題（マテリアリティ）の主な取り組み

## 事業を通じた社会課題解決への挑戦

ICTの利活用により、人・地域社会・自然が調和した安心・安全で豊かな社会の実現に貢献します。

8つのマテリアリティ

貢献するSDGs

### ① 環境保全・リサイクル

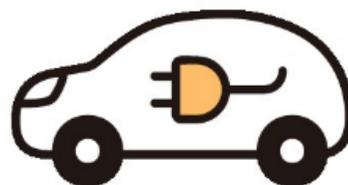
環境負荷の少ない製品・サービスの提供と、CO<sub>2</sub>（温室効果ガス）排出量削減に取り組みます。



## 取 り 組 み



・電力、ガソリンのCO<sub>2</sub>で  
2018年度比26%削減  
(削減目標達成)



・社有車エコカー切替  
→エコカー比率61.3%  
(2023年9月末より2.6%向上)



・リユース・リサイクル  
買取サービス推進

# (1) 重要課題 (マテリアリティ) の主な取り組み

## 事業を通じた社会課題解決への挑戦

ICTの利活用により、人・地域社会・自然が調和した安心・安全で豊かな社会の実現に貢献します。

8つのマテリアリティ

### ②地域社会活性化

地域社会の課題解決に積極的に取り組み、安心・安全で豊かなまちづくり、地域の活性化に貢献します。

貢献するSDGs

3 すべての人に健康と福祉を



4 質の高い教育をみんなに



11 住み続けられるまちづくりを



## 取 り 組 み



- ・地域住民と自治体間で様々な情報を共有する地域防災情報共有化システム「BO-SAI navi Difesa」認知度向上推進中



- ・サステナ経営検定 3級 35名合格
- ・地域清掃活動、収集型ボランティア活動の実施

# (1) 重要課題 (マテリアリティ) の主な取り組み

## 事業を通じた社会課題解決への挑戦

ICTの利活用により、人・地域社会・自然が調和した安心・安全で豊かな社会の実現に貢献します。

8つのマテリアリティ

貢献するSDGs

### ⑦ 企業論理・公正な取引

あらゆる企業活動を通じて、企業論理の徹底とガバナンスの充実を図ります。



## 取 り 組 み



- ・人権、コンプライアンス研修を実施  
eラーニング「ビジネスと人権」(全役職員)  
ハラスメントセルフチェック (管理職)

ともに歩み、ともに見つめ、  
ワクワクする未来へ

- ・パーパス、スタイル社内浸透プロジェクトを実施  
組織文化サーベイ (全員)  
タウンホールミーティング

# ご参考 プレスリリースおよび主なニュース一覧

2024年3月28日	PRESS RELEASE 子育て・介護支援に向けて 新たな育児介護休業取得支援制度を導入
2024年3月15日	「健康経営優良法人 2024（大規模法人部門）」の認定について
2024年3月4日	PRESS RELEASE 経済産業省が定める「DX認定事業者」に認定
2023年12月21日	「2023年度情報通信エンジニア優良団体」表彰について
2023年11月10日	PRESS RELEASE 「パーパス」「スタイル」制定のお知らせ
2023年10月3日	PRESS RELEASE CTIソリューション「CallKeeperDX」拠点管理システムリリースのお知らせ



# 扶桑電通株式会社

## ■ 免責事項 ■

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報や判断に基づくものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予測数値と異なる可能性があります。

本資料の掲載内容は、細心の注意を払っておりますが、その内容の正確性・確実性を保証するものではないことをあらかじめご了承ください。